

標 題 | 隠岐の島町WCS研修会を開催しました

(ダイジェスト)

隠岐の島町ではWCS用稲の栽培面積が年々拡大しており、今後も拡大する予定です。  
そこで、島内で栽培されたWCSの品質評価と、栽培方法及び繁殖牛へ給与する際のポイントについて研修会を開催しました。研修会にはWCSを利用しているほとんどの畜産農家の方が参加し、WCSの高品質化へ向けて再確認を行いました。

隠岐の島町では、H25年度に自給飼料利用推進調整協議会を設立し、畜産農家と耕種農家のマッチングを行うとともに、収穫作業受託組織が収穫作業を担うことにより、WCSの生産拡大に取り組んできました。設立当初は約7haしかなかった栽培面積も、今では37haまで拡大しました。

栽培面積拡大に伴い、WCSを利用する畜産農家が増加し、今後も需要が拡大すると思われることから、今回WCSの更なる品質向上、肉用牛への適切な給与による生産性向上を目的とした研修会を開催しました。

研修会では、島内で生産されたWCS5個（個人収穫分3個、受託組織収穫分2個）を飼料分析して、品種や栽培方法等による品質の違いを皆で確認した後に、農業技術センター技術普及部の古瀬専門農業普及員よりWCSを栽培するポイントと、繁殖牛へ給与するポイントについて説明を受けました。



飼料分析した WCS

保管方法や給与方法等について多くの質問が出た他、「高品質なWCSを生産するために適切な栽培・収穫を行うことが大切だと再認識できた」と前向きな意見が多く聞かれました。

農政・普及部としては専用品種の利用拡大、適切な栽培及び収穫の普及によりWCSの栽培面積の更なる拡大と高品質化を支援していく予定です。



実際に WCS を比較している様子



研修会の様子